

水俣水産設立お流れ

漁民の反対で白紙に

長、淵上市会議長、田淵商議所
会頭ら発起人十一人が全員出席
して協議した結果、漁民の反対
に抗しきれず調停委にいっさい
を返上して白紙にもどすこと
になったもの。

水俣病のため漁場を奪われた水俣
漁民を救済するための水俣水産振
興会社（クルマエビを主体とした
水産動植物の養殖、加工、売買、
氷の製造、売買など）設立発起人
会は八日ついに解散、水俣病関
係漁業補償紛争調停委（森永県商
工水産部長、中村前水俣市長ら七
人で構成）にいっさいの世話を返
上、手を引くことになり、同会社
の設立はお流れとなった。

同会社の設立は一昨年十月二十五
日未明、新日窒水俣工場と水俣漁
協が補償問題で調印したさい、契
約書と覚え書きのなかに新日窒水
俣工場は漁業振興会社設立資金と
して五百万円を出資するところ、
その後市は水俣市内に資本金二千
万円で同会社の設立を計画、昨年
末までには操業をはじめの準備を
進め発起人会をつくっていたもの
だが、水俣漁民の大部分は、クルマ
エビの売りさばき先が東京、大
阪などの遠距離で鮮度が落ち、買
いたたかれ、また水俣沿岸はクルマ
エビがあまりとれないなどのほ
か、漁場としてほとんど新日窒か
らの出資金をもとに水俣漁協で売
り払った船や漁具を買ってもちっ
た上で水俣漁民のための水産事業
をやりたい、と会社設立には当初
から強い反対態度を示してきたも
の。

発起人会としては最近まで漁民
の動きを勢めていたが同日市役
所で開いた発起人会で熊本市